

トケル 養液配合肥料

養液土耕栽培では、液肥と灌水を同時に行います。
予め濃縮液肥を準備し原水と混合、希釈を行って作物に与えます。

トケル養液配合肥料シリーズ

商品名	保証成分%			配合成分%						
	窒素 (AN/NN)	リン酸	加里	苦土	マンガン	ホウ素	鉄	銅	亜鉛	モリブデン
1号	10.0 (2/8)	9	30	4	0.15	0.15	0.138	0.007	0.014	0.003
2号	10.0 (1/9)	8	20	6	0.12	0.17	0.277	0.014	0.029	0.006
3号	12.0 (2.7/9.3)	11.5	32	1.5	0.08	0.11	0.185	0.009	0.019	0.004
4号	19(5/5)	15	10	4.5	0.11	0.16	0.277	0.014	0.029	0.006
5号	8.5(0/8.5)	7.5	31.5	6	0.10	0.15	0.277	0.014	0.029	0.006
6号	15.0 (2.5/8)	10	24	3	0.10	0.15	0.259	0.013	0.027	0.006
アスパラガス用 らくらく33	33(0/2.3)	3	8	3	---	0.05	0.111	0.005	0.011	0.002

各作物の生育や目的により商品の使用をお願いいたします

◆養液配合肥料の特徴（メリット）

- ① 施肥や灌水時間の労働力軽減（自動施肥灌水装置設置）
- ② 3要素に微量要素肥料を配合しています。
- ③ コストパフォーマンスに優れています。
- ④ 多量の濃縮液がストック出来ます。
- ⑤ 作物の生育状況に応じて施肥濃度や量を調整出来ます。
- ⑥ 天候状況に応じて施肥量や灌水量を調整します。（自動装置の場合）

アクアスマート（自動灌水制御）を使って液肥もらくらく施肥



電磁弁



土壌センサー



日射センサー



(濃縮タンク・2液タンク タイプ)

トケル養液配合肥料の希釈方法

標準培養液の作り方 2液タイプの場合

① トケル養液配合 25kg/袋

② カルシウム 20kg/袋



水
200リットル

養液土耕栽培で使用する場合は、8~10倍液で希釈し生育量に応じて、EC濃度（給液）0.7~1.5程に調整した培養液の適量を自動養液システム等を使用して灌水処理します。



水
200リットル

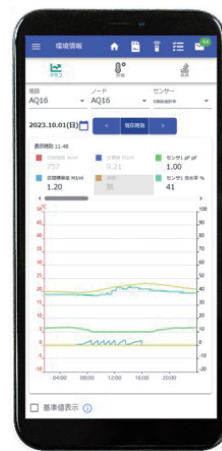
① トケル養液 8倍液

② カルシウム 10倍液

苺栽培におけるトケル養液配合1号の使用方法について（参考）

時期	11月	12月	1月	2月	3月
生育時期	1番 収穫開始	収穫最盛期	2番 出蕾期	2番 収穫開始	収穫最盛期
EC濃度（標準）	0.5~0.8ms/cm	0.8~1.2ms/cm	0.8~1.0ms/cm	0.8~1.2ms/cm	0.8~1.5ms/cm

アクアスマートにインターネット接続することで、携帯やパソコンで、確認や操作が可能です。灌水履歴や動作履歴も確認できます。



アグリ技研 株式会社

TEL 0942-45-5800 FAX 0942-45-5200
〒839-0863 福岡県久留米市国分町1151-1



アグリ技研ホームページにも商品情報を掲載していますのでぜひご覧ください

サンクール

〒880-1103 宮崎県東諸県郡国富町嵐田828番地
TEL 0985-75-1322 FAX 0985-75-1323
HP <http://www.suncool.co.jp>
E-mail mail@suncool.co.jp

アグリシステムパートナー
シワ株式会社